

## ネイティブクロストリジウム・テタニ テタノリシン

Cat. No. NATE-0693

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 テタノリシンは、クロストリジウム・テタニ(Clostridium tetani)細菌によって生成される

毒素です。その機能は不明ですが、破傷風の病因に寄与していると考えられています。もう一つのC. tetani毒素であるテタノスパスミン(tetanospasmin)は、破傷風により明確に関連付けられています。テタノリシンは、コレステロールに結合する細胞溶解毒素(cytolysins)として知られるタンパク質毒素のファミリーに属します。細胞溶解毒素は、細胞質膜に孔を形成し、イオンや他の分子が細胞内に通過することを可能にします。テタノリシンの分子量は約

55 kDaダルトンです。

用途 テタノリシンは、赤血球(RBC)の溶解孔の形成を分析するために使用されてきました。ま

た、感染したRBCを透過させるためにも使用されています。

*別名* テタノリシン

製品情報

**由来** 破傷風菌

**形態** 塩化ナトリウムと酢酸ナトリウムを含む凍結乾燥粉末

*分子量* 55 kDa

**緩衝液** 100 µlの無菌水で再構成すると、濃度は40 mMのリン酸ナトリウムバッファー(pH 7.2)中

で1 µg/µlとなり、200 mMのNaClを含みます。

保管・発送情報

*保存方法* 2-8°C